



葎米うさぎ
50周年キャラクター

11月号 令和5年10月31日発行

葎田小だより

横浜市都筑区葎田南町694番地 [TEL911-0149]
[http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/eda/]



創立50周年記念運動会を通して感じたこと ～持続可能な行事・日常の学習活動の中に位置づける～

校長 伊藤 智樹

新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に変更になって、4年ぶりの制限のない運動会でした。運動会開催の前の週にはインフルエンザや風邪症状の児童が多く開催にあたって日々の欠席者数を注視する毎日でしたが、ご家庭での健康観察をしていただくなどの日常的な感染対策にご協力いただき、無事運動会を開催することができました。今年は特に創立50周年という葎田小にとって記念すべき年です。運動会のテーマや内容にも創立50周年を意識したものでした。当日に向けて、保護者の皆様には、子どもたちを励ましてくださるなど多くのご支援をいただきました。当日も多くの保護者・地域の皆様、卒業生にご来場いただき、子どもたちの活躍する姿を観ていただきました。この場を借りて、御礼申し上げます。



運動会をはじめとする学校行事は以下の特別活動学習指導要領やその解説書に記述されています。学習指導要領そのものには「運動会」という記述はなく、その解説書の中で「運動会など」という一例として挙げられています。

- 児童や学校、地域の実態に応じて、2に示す行事の種類ごとに、行事及びその内容を重点化するとともに、各行事の趣旨を生かした上で、**行事間の関連や統合を図るなど精選**して実施すること。

【小学校学習指導要領 第6章 特別活動[学校行事] 内容の取扱いより抜粋】

- 運動会などについては、**実施に至るまでの指導の過程を大切に**するとともに、**体育科の学習内容と関連を図る**など時間の配当にも留意することが大切である。また、**活発な身体活動を伴う行事の実施に当たっては、児童の健康や安全には特に留意し、日常の学校や家庭における健康管理、教師間の協力体制を万全にし、事故防止に努める必要**がある。

【小学校学習指導要領 特別活動編 解説より抜粋】



4年 藍染

上記のことをベースに限られた授業時数と熱中症対応、総合的な学習の時間を核にした各教科の横断的な扱い、特に創立50周年記念行事の一環として各教科間の関連性を加味し活動を進めたものが今回の運動会でした。騎馬戦実施にあたっては、事故防止を最優先とし、一騎ごとに職員が補助につくという対応を実施しました。中学年の演技に着用した「草木染」「藍染」は、総合的な活動の時間が核になっていました。3年生は児童が集めた素材で染物にしていました。「この色は何で染めたのでしょうか？」と仕上がったシャツを嬉しそうに見せてくれる子どもたちの姿、仕上がった藍の模様を誇らしげに見せてくれる4年生の姿に私も幸せな気持ちになってきました。



3年 草木染

行事は個々の行事が独立したものではなく、そこに至る様々な準備や活動を通して子どもたちは成長します。その一方で授業時間という教育資源には限りがあります。教科・領域ごとに内容や目標があります。教科ごとの内容や目標を把握したうえで、教科横断的な学びをいかに創るのか、マネジメントしていくことが私たち教師の仕事です。中学校・高等学校が教科担任制に対して小学校は基本学級担任制です。そのため教科横断的な扱いは、小学校のほうが比較的しやすいと言われています。

授業を創っていくことは教師として一番の仕事であり、醍醐味とも言えます。私たち教師は様々な教育活動を通して子どもたちの資質・能力の育成を目指しています。引き続き、魅力ある学習活動が展開できるように授業改善に努めていきたいと思えます。